

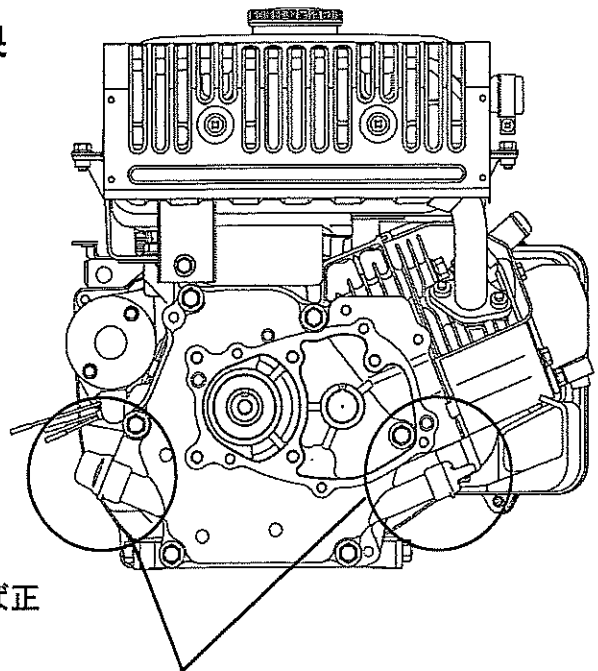
## ■ 各部の給油、点検とオイル交換

### ■ エンジンオイル

オイルの種類	純正オイル
ガソリンエンジン用 オイル	10W-30

### ■ エンジンオイル規定量 …… 0.6 ㍓

- (1) エンジンオイルが規定量入っているか確認してください。
- (2) オイル量がゲージの上下線の間であれば正常です。不足なら補給してください。



油面ゲージ  
給油口

### 補足

エンジン停止直後では、各部にオイルが残っていますので正確なオイル量が測れません。少なくとも停止後 5 分以上たってから、機体を水平にして点検してください。

### ■ 油圧作動油(パワーユニットオイル)

- (1) 車体を水平にしてブームを下端に下げて油量を点検してください。
- (2) 作動油が不足していれば、給油口より補給してください。

- 作動油規定量 …… 約 1.6 ㍓
- オイルの種類 …… 油圧一般作動油 32 番



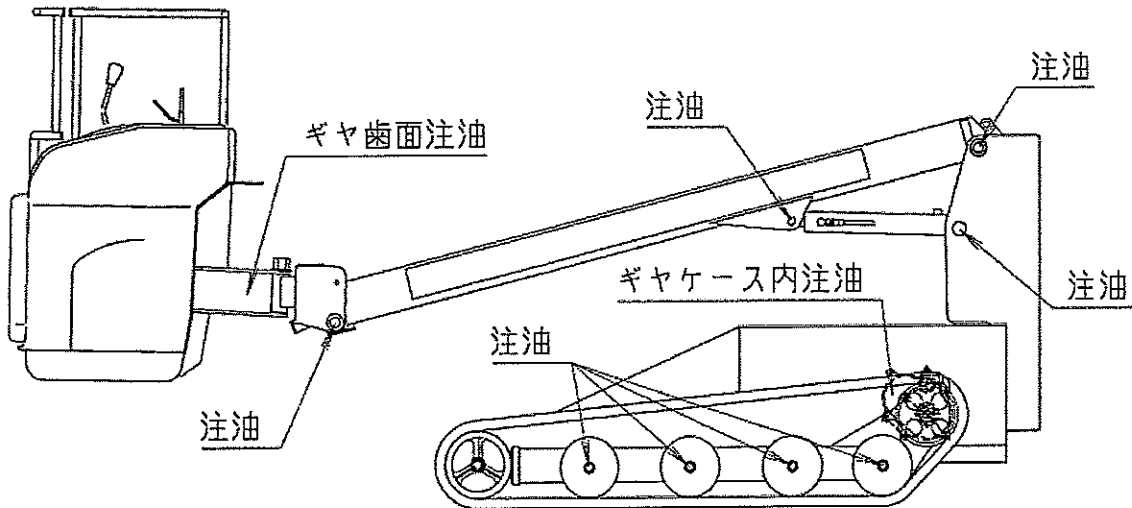
給油口

### 補足

- 油量が不足している場合は、『ブームが上がらない』、『上昇速度が不安定になる』といった症状が出ます。補充してください。
- 油量が過剰である場合は、給油口から作動油が吹き出すおそれがあります。
- 給油時には、異物が混入しないように、付近の砂やゴミをよく拭き取り、充分注意して行ってください。
- 補給する場合は、必ず同一銘柄の作動油を使用し、絶対に他銘柄と混合しないでください。
- オイルの減少が著しい場合は、油圧配管の劣化や損傷が考えられます。その際は、購入された販売店にご相談ください。

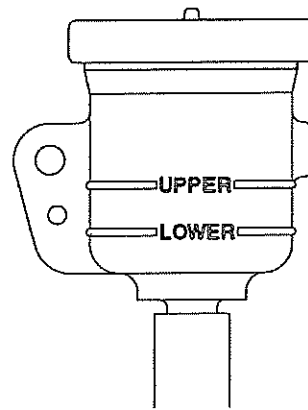
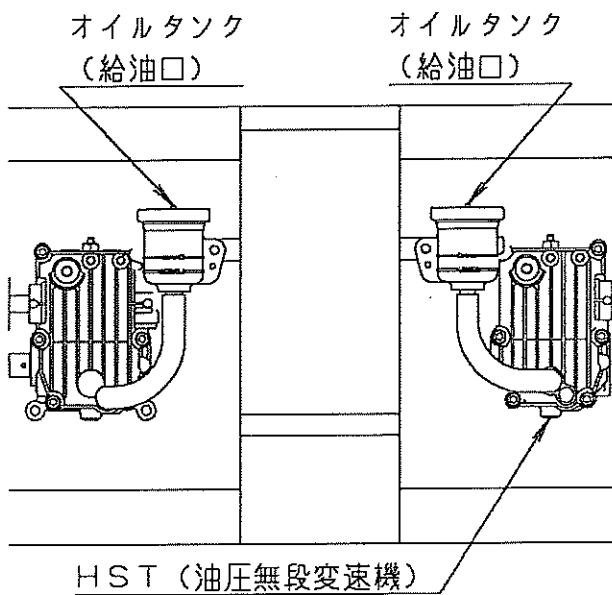
## ■ 各ジョイントピンの給脂

- グリースの種類 …… 極圧用リチウムグリス



## ■ HST ミッションオイル

- オイルの種類 …… ディーゼル用エンジンオイル  
(SAE 10W-30、CD 級)
- 規定量 …… 0.6 ㍓ (片側)  
左右 2ヶ所あります。



オイルタンクに UPPER と LOWER のラインがありますので、そのラインの間にオイルがあれば正常です。

LOWER 以下のときは、UPPER までオイルを補充してください。

## ■ 点火プラグの調整

- (1) プラグ用プラグレンチでプラグを外し、付着しているカーボンをワイヤブラシで清掃してください。
- (2) 電極間隔を 0.6 ~ 0.7 mm に調整してください。
- (3) 調整間隔は 100 時間に 1 回位が目安になります。

